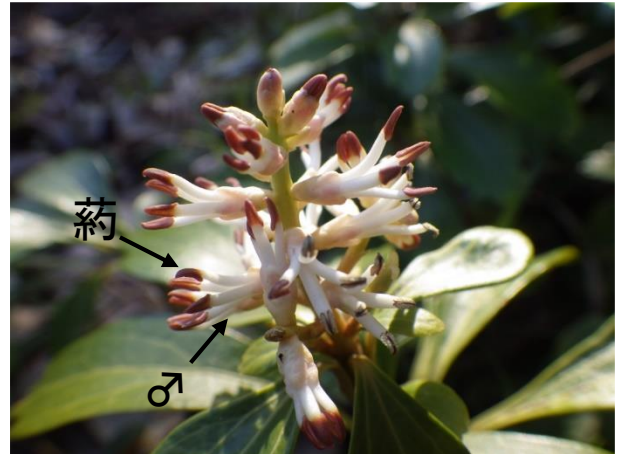


植物多様性センターの「フッキソウの花の咲き方」

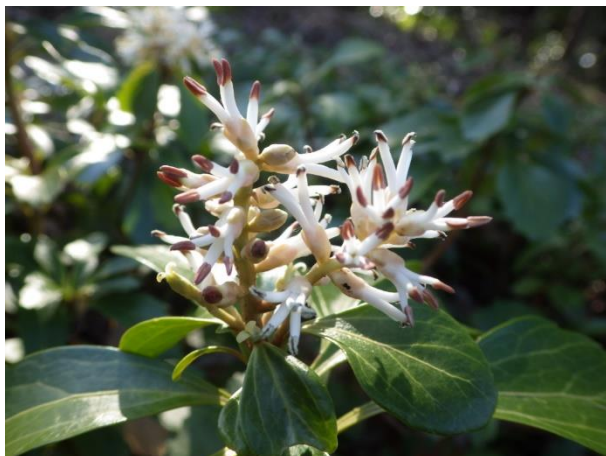
センター正門の入ったところに、雌雄異花・雌雄同株のツゲ科の多年草、フッキソウが見ごろとなっています。開花は一番下の少数の雌花から始まります。次に赤茶色の葯をつけた雄花が咲きあがり、葯が開いて白い花粉を出し始めます。最終的には、花は赤茶色から白っぽく変わり咲き終わりとなります。花弁のないシンプルな花ですが、個性的な花の咲く様子をじっくりと観察できます。



開花初期:2本の花柱からなる少数の白い雌花が咲く



開花中期:雄花は4本の雄しべからなり先端の赤茶色は葯



開花中期:茶色の葯が開き白い花粉を出し始める



開花後期:すべての葯が開き、花序は白っぽく見える